

奈井江町地域公共交通会議

平成 20 年 7 月 17 日設置



概要

奈井江町の公共交通は、町外へのアクセスとして、鉄道をはじめ国道 12 号線の地域間幹線バスや隣町(浦臼町)との路線バスがあり、町内では旧炭鉱住宅地域と市街地域を結ぶ町営バス(向ヶ丘線)のほか、高齢者を温泉まで運ぶ福祉バス、児童生徒のスクールバスがあります。しかし、町内には依然として公共交通空白地域があると共に、急速に高齢化が進む中、高齢者や障がい者等の交通弱者が住み慣れた地域で安心して日常生活を過ごすため、町全体で生活支援を図る公共交通の確保が重要課題となっています。このため、市街地区や農村地区それぞれの地域の現状を踏まえながら、効率的で利便性に配慮した新たな公共交通の検討を行うものであります。

○地域公共交通の現況

- ・JR 函館本線、地域間幹線バス(中央バス)
浦臼町営バス(奈井江線)、奈井江町営バス(向ヶ丘線)
福祉バス(6 路線)、スクールバス(2 路線)

○地域公共交通の課題

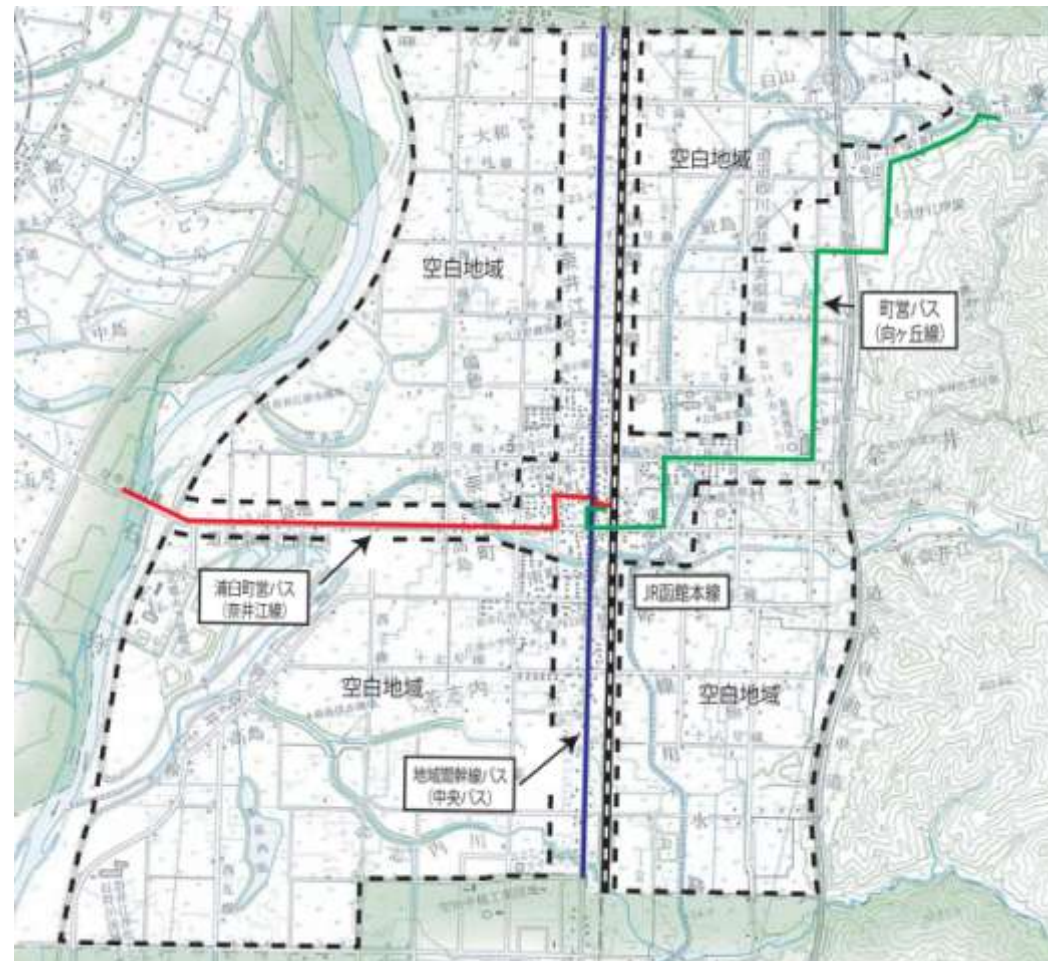
- ・地域の過疎化及び町営バス利用者の減少
- ・高齢者など交通弱者の生活支援のため、買物や通院等の交通確保
- ・市街地や農村など、地域の現状を踏まえた交通体制の整備
- ・町民ニーズを踏まえ、利便性に配慮した交通手段の確保

○調査の主な内容

- ・現況調査
- ・実態調査 住民アンケート調査 タクシー利用実態調査
町営バス乗降調査 福祉バス利用者アンケート調査

○奈井江町地域公共交通会議開催状況

- 平成 24 年 7 月 5 日 (第1回)
 - ・主な協議事項 設置要綱改正、平成 24 年度予算
- 平成 24 年 7 月 11 日 (第2回)
 - ・主な協議事項 調査計画実施に伴う指名事業者選定
- 平成 24 年 8 月 6 日 (第3回)
 - ・主な協議事項 調査事業の内容とスケジュール検討
- 平成 24 年 11 月 12 日 (第4回)
 - ・主な協議事項 現況・実態調査結果、公共交通体系の検討
- 平成 25 年 3 月 12 日 (第5回)
 - ・主な協議事項 地域公共交通の具体的な運行内容の検討
本格運行に向けたスケジュール検討



奈井江町地域公共交通会議 調査事業の取組状況

●調査事業の結果概要

- ① 地域別人口、世帯数、高齢化率、近隣都市間移動状況把握、住民アンケート調査、町営バス乗降調査、福祉バスアンケート調査、タクシー利用実態調査を実施
- ② 調査結果から現状と課題を把握
- ③ 地域公共交通計画の素案の検討

●調査事業の結果の適切性

奈井江町の各種交通の利用実態、町民ニーズ、課題などの把握により、今後の地域公共交通の方向性やあり方が示され、検討を重ねるなど、適切に実施された。

●生活交通ネットワーク計画等の計画策定に向けた方針

【方針】

- ① 町営バス運行体制の見直し
- ② 新たな交通システムの導入
- ③ 効率的運行による経費の抑制

【実施時期】

- ①②とも平成25年4月実証運行 10月本格運行
- ① 既存町営バス(向ヶ丘線)の便数を見直し、市街地域の高齢者や障がい者等への利便性に配慮しながら、買い物や通院など生活支援を担う市街地循環バスを運行。
- ② 農村地域では、高齢者や障がい者への買い物や通院などの生活支援を担う、予約型乗合タクシーを導入。

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

次に掲げる点について、アドバイスする。

- ・10月からの本格運行に当たっては、単に路線の延長等によりフィーダー化するのではなく、実証調査とそれに付随する住民アンケートの結果を精査し、また既存の路線バスとの乗り継ぎ円滑化と町内全体の交通体系のあり方にも配慮した上で、便数やダイヤ等の設定をされたい。
- ・将来的な持続可能性にも配慮した運賃及び広告収入のあり方並びにそれらを踏まえた自治体及び事業者等との間の費用分担のあり方についても検討されたい。